

懺悔レポート

こんにちは、佐々木です。
これは懺悔のレポートです。
未来の自分に残すための自戒レポートでもあります。

僕が月収2100万円を超えてから
周りの仲間や先輩からも認められるようになって
ある程度のレベルには達したなーとか余裕かましてた時、
とあるパーティーで次元違いすぎるビジネスマンと話して、
完全にレベルが違うやんって打ちひしがれて、
そこから現実逃避したり忘れたりを何度も繰り返して、
とあるきっかけで今自分に向き合わないと終わりだと思って
直談判して教えを乞い、
新しい世界に触れ、学びを得るなかで
未来の自分のために残そうと書いた文章です。

過去の悔やまれる自分の行いに
別れを告げる決別のレポート、とも言えるでしょう。

前提として自分用です。
だから普段のいつもの僕のイメージと違うかもしれません。
本音さらして書いてます。

自分の思いを書き記すのは大事にしています。
振り返って何度も読むことができ
何度読み返しても気付きがあるからです。

ここから本文になります。

もう何回現実逃避しただろう。

向き合うべきことがある。

レベルが違いすぎる起業家Aさんと出会った。
幸運にも何度かお会いする機会があった。

パーティーで一回
懇親会で二回
さらに懇親会で三回

Oh,なんてこった
今これを書いてるタイミングでも
一回目から実に1年が経ってる。

逃げ続けてきたんだなあ、
やるべきことから。

特に目先の忙しさを盾にしてたことと
教えを乞うという選択から逃げ続けてきたこと
これが俺の問題だ。

3回目の時かな、
お金払うのでブログにアドバイスくださいと言った。

熱意を見せていたら、
そこから個人的な繋がりが出来た。

はじめてお誘いが来て
今日六本木で飲みませんか？って言ってもらえた時
僕は福岡でセミナーだった。

チャンスは掴めなかった。
分厚いコートを着てた冬の頃だ。

その機を逃してから
半年くらい経過したころ。

現状をもっとよくしたいなんて思って
普段会わない人と接触してみたりしていた。

そんな事をしていた最中
偶然、AさんとSNSでやりとりして
上野にいた自分のところに合流してくれる
なんて機会が舞い込んできた。

ちなみにこの日がなかったら、
今書いてるこのレポートは存在しない。

マジで人生どう転がるかわからない。

エレベーターから出て店に入る人を見て
まだかな、と待っていた。

Aさんが来た。
すぐ分かった。
久々だったけどオーラやばかった。

席に着いて一言。

「お久しぶりです。
どうですか調子は」

すこしヒヤッとしたけど
まあいい感じにやってます、
と口が動いていた。

素直じゃなかった。

本当のことをいえば、
僕の中では大きな前進、進化をしてる感触はなかった。

コイキングのレベルが上がってるだけで、
まだギャラドスにはなってねー、
いやギャラドスの未来見えねー、みたいな。

こういう時に素直にさらけ出せる強さは欲しい。
プライドうぜえな。

そして悔しかったのは、

まだいろんな改善点があるはずの僕よりも

Aさんのほうがガンガン前進している、
挑戦しているということだった。

あー・・・これはアカン。

すでに敗北しているのに
さらに差をつけられている状態。

啞然とした。

そんなこともあったから、
今までやってこなかったことに挑戦しよう
なんて気持ちが湧きおこって

ゲテモノ(昆虫やらカラスやら)を食べてみたり
初バンジージャンプで100mに挑戦したり
一着10万するハイブランド買ってみたり

新しい世界に触れる活動をしたりもした。

で、話を戻すけど、
上野でゴ一緒した時にAさんから

「ぶっちゃけ僕からしたら、
ちょっと飯食いながらアドバイスすれば
すぐ利益10倍とかになる人ばっかですよ」

そんな言葉が飛んできた。

マジっすか——。

目があった。

「佐々木さん教えてくださいか？」

なんて言葉を、僕は期待していた。

実際にはAさんからそんな言葉は出てこない。

すでに1日100万円とか利益出てる人だ。
自分からオファーする義理もないよな。

今振り返りながら、
1つ記憶がフラッシュバックしたから、書く。

俺は聞くのを怖がっていた。
何百万円かかるんだろう。そんなお金は払えないなあと。

聞いたら最後、そんな自分の引けた腰がばれてしまう。
だから聞けなかった。
チンケなプライドを優先していたんだ。

プライド問題は結構あるなー。
口で言ってる目標より、
自分のプライド優先してる。

だから伸びねえんだわ。自戒。

話それたけど、
その日はそれで解散した。

その3週間後だろうか、
Aさんのとある文章と動画を見る機会があった。

- ・ ちょっと稼げるようになった人ほど
それまでのような自己投資の勢いがなくなる
- ・ そしていつまでも頭打ちでブレイクスルーしない
- ・ 上に行きたいならプロから習うべきなのに
目先のお金を失うのを怖がってる

シンプルに言うとそういう話だった。

めった刺しだった。グサグサと。

周りと比べれば遥かに自己投資はしてるかもしれない。

その年でも400万円くらいはしてた。
けど、そんな俺の”周り”の基準はどうでもいい。

自然と、昔のことを思い出していた。

まだネットビジネスを知った矢先のこと。

有り金のなかから出す、そんなレベルじゃなくて
借金して自己投資してた。

チャンスだと思った時に金がないなら
キャッシングしてまで自分に投じた。

そのあとで短期のバイト入れて稼いでなんとか間に合わせた。

東京ビッグサイトでビールを1日中冷やし続けたりした。

リーダーみたいな人や古参からはゴミみたいな扱いでこき使われて、
帰るときには疲れきった体を引きずってりんかい線乗って。

氷に手を突っ込みすぎたからか、
帰りの電車でも手の感覚がなかった。

今の自分がいるのはその時の自分のおかげだ。
未来の自分のために苦しいこともやってのけた自分のおかげ。

独立初年度、コンサルで月120万稼いだときもそうだ。
僕はそのお金をすべて自己投資に回してた。

単発で100万稼げただけで、俺はおわんねえ！なんて思ってた。
次は年1000万だ！

もちろん稼いだお金は失ったけど、また稼げばいいと思ってやった。

その時点で確実にまた稼げる、なんて保証はもちろんない。
でもその120万が手元にあっても食いつぶすだけだ。

まだ学んで上にいける。
自信があったんだ。
自分を信じてた。
俺ならやってのける、乗り越える。

今思い返すと、めっちゃ自己投資意識高い。
自分という投資先が一番利回りがいいと信じてた。

でもいつの間にか、自分を信じられなくなってたのかな。
だから自己投資の勢いがなくなってたんじゃないか。

書いてると記憶がフラッシュバックしてくる。

今、自分の好きな言葉を思い出した。
その話も書いておこう。

ぶっちゃけると「安定」という言葉が
もっとも似合うような会社に勤めていた。

だから独立すると言ったときには、
ビジネス仲間からも
なぜそれを捨てるのかわからない、ということを言われたよなあ。

当時いたビジネスのコミュニティのチャットに、
自分自身が言い放った言葉がある。

それが自分の好きな言葉だ。

「この選択が正しかった、
　　そう思えるような行動をしていくまでです。」

こう言い放っていた。
やるやんあの時の俺。

今振り返ってどうだろう。

未来の自分の可能性を信じた俺は
月2000万を超える利益を出すほどまでには来た。

独立するという選択は正しかった、そういえる。

昔の自分を思い返すだけで地獄に見えるからだ。

年収は手取りで300万円ちょい。
そこから家賃やら生活費やらを引いて、手元にはほとんど残らない。
同僚もみんなカツカツだったっけ。

行きも帰りも満員電車で揺られ、
誰でも替えがきくような仕事をロボットのように済ませて
そこから同僚との付き合いで飲みに参加し、
口を開けば誰もが出世昇給の話ばかりで、気付けば終電。
大事な人生の時間がどんどん消えていく。

表面的なことしか踏み込まない、
踏み込まれない、薄っぺらい人間関係。
ため息ばかりついていた。

金曜日は幸せで、日曜日には月曜日を思って死にたくなり、
いつまでも夜ふかししていたなあ。

ちょっとムカついたから書いておくけど

何がやりがいのある仕事じゃ—————！！！！
クッソ—————！！！！

これ働きながらめっちゃ思ってた。

就活で俺はやりがいを求めてた。

どうみても世間的に普通とされるレールの上を
従順に、ホント従順に歩んできた俺だったから
仕事くらいは誇れるものがないと思ってた。

ここなら面白いかもしれない。
でも働いてわかった。やりがないなんてない、と。

俺も先輩によく聞いたよなー。
先輩はこの仕事のやりがいってなんですか？

立場が変わって、
新しく配属される後輩から目を輝かされて同じ事聴かれたんだ。

先輩はこの仕事のやりがいてってなんですか？

そうだなあ、と言って、ムリやりひねり出して答えていた。
そんなもんなんだ、と気付いた。

ただ生きるため、生活費を稼ぐために
働いてるだけだったんだ。惰性でしかない。

何より気に入らなかったのは、
自分がやってる仕事が誰にでも替えが効くと思ったことだ。

どうみても誰だって出来るだろ！
と思う仕事。でも、世の中に貢献しているらしい。

らしい、と書いたのは、自分が目の前でやっている仕事と
世の中にもたらす結果がかけはなれすぎているからだ。

パソコンカタカタして
システムぽちぽちいじって
世の中が助かってます！

ロジック的にはそうなってる。
でもそれにやりがい感じられる方が異常だと思った。

一時期、そうやって納得できないやりがいを、
自分でムリやり納得しようとしてると感じた時もあるって
マジで吐き気がした。

あともっと言うと
社内にいる時しか役に立たねえ、という事ばかりだった。

化石みたいな社内用語。

外の世界で使う人間はいない。

この会社に居続けるということは、
この会社にどんどんどんどん最適化されていく人生だと理解した。

会社にとって都合のいい人材となる人生。

それは裏返すと、他では使えない人材になっていく人生。

年を追うごとに、年齢だけが積み重なって、スキルは積み重ならない。

社内での人脈ができるにつれて、折衝が楽になるくらいだ。
当然外の世界でそれは通用しない。

そんな人生に疑問を抱く毎日だった。

シフト勤務もあったから
朝5時台に寒っみいーって言いながら家を出て
JRのホームで日の出を見ながら電車を待ってた。

ホームには死んだ目をしたサラリーマン達。
中にはストレス溜まりすぎたのか、駅のホームで
欅坂46をスピーカーで流しながら歌ってるおじさんもいた。

カオスすぎるw

毎回「サイレントマジョリティー」流すから
歌詞覚えるほど聞かされた。

君は君らしく生きて行く自由があーるんだ
大人たちに支配されるな
初めからそうあきらめてしまったら
僕らは何のために生まれたーのかー？

夢を見ることは時には孤独にもなるよ
誰もいない道を進むんだ
この世界は群れていても始まらない
Yesでいいのか？
サイレントマジョリティー――

なんだか、ダメージ食らわされる歌詞だった。

あと、行き帰りで同僚先輩上司に会いたくなさ過ぎて
めっちゃ周りを気にしてたなー。

会った時にはお互い気を遣って、
中身のない世間話をする。
マジで無意味だと思ってた。

もちろん中には趣味が合ったりする人もいたけど、
そんな人ばかりではない。

会社にはいない時間でも
会社の人間関係と絡むとか無理。

そう思っていた。

そんな日々の無限ループだった。
1年目、2年目はまだ疑問を持っていた。

先輩上司を見ると、
もう諦めてるなって感じがした。
疑問を自分で押しつぶして、
ムリヤリ納得して。

だからこそ、疑問を持ってるうちに
この現状から抜け出そうと
ビジネスしてきたんだった。

いやこんな頃もあったんだ。
忘れちゃいけない。

まだこれ書いてる今だったら、
体感値として残ってる。
あの頃の空気感がわかる。
戻りたくはない。

書き残すことはめっちゃめっちゃ重要だ。
そして、それを見て振り返ること。

率直にビジネスは俺を変えてくれた。

金も昔と比べたら全然ある。
時間も増えた。ヨーロッパに10日とか滞在して
楽しむ余裕もある。

これは会社員の時には
やりたくても出来なかったことだ。

新人1年目で10日休み取ろうとしたら上司に
「それは無理かなー佐々木くん」
と圧をかけられた。

萎縮してそれ以上何も言えなかった。
悔しい経験。
それだけにお金も時間も場所も縛られない
今のライフスタイルには自由を感じる。

それに今の仕事はロボットの作業ではない。
俺だから出来ると言える事をやってるし。

ビジネスで出会った仲間の中で、
腹割って話せる人間関係も出来た。
家族ぐるみで会ったりすることもある。
特に子どもが懐いてくれて、遊ぶのが楽しい。

それでいて、
関わりたくない人間とは関わる必要もない。
ストレスフリーだ。

毎日同じ通勤経路を行き来する生活とはおさらばした。
満員電車だって避けられるし、
なんなら今タクシー移動しかしてない。

働く場所も縛られないからどこに居たっていい。
日本から南に3170kmにあるパラオから、
日本と通話をつないで仕事をしたことだってある。

あとストレスフリーで思い出したけど、
会社辞めてから明らかに顔色が良くなった。

ストレスからか顔を掻いてしまって
肌ボロボロになってたんだけど、それもなくなった。
そういえばフケもなくなった。

ストレスって本当に
人間にダメージ与えてるんだなーと思う。

色々脱線したけど、
何の話だったかというと、自己投資の話だ。

全くの0だったスタートの時。
月100万初めて稼いだ時。

その時はアクセル全開で自分に金を投じてきた。
もっと上を目指すため。

稼げる金額が大きくなってきてからだ。
セーフティゾーンでしか、
どう考えても安心なラインでしか
お金を使わなくなっていた。

使う先がない、
なんてことも言ってたかもしれない。

満足していたのかもしれない。
こんだけ自分に投じている、ということに。

でもさでもさ。

この頃の俺は、
目指している領域に対して

やっтерることが釣り合ってなかった。

目指してるのは、
自分が全く働くことなく億稼ぐ領域だ。
年間億なら、月収でいえば1000万。
全く働かなくても、だ。

ネットならそれが可能だということは知っている。
不労所得なんて昔は信じられなかったけど
せっせとコンテンツを作り
仕組みを構築することで本当に得られる。

実際にAさんを始めとして
現実でお会いしたこともある。

では自分はどうか？

月収2000万超える時もある。
でもコンサルによる労働収入だ。

もちろん労働が悪いとは思ってない。
教えることで力も付くし、
教えた人が結果を出すことは
自分の事のように嬉しい。

でも、勘違いしてはいけないことがある。

- ・ 自動で稼ぐこともできるんだけど

労働を”あえて”選んでいる

- ・ 自動で稼ぐことができないから
労働をしている

この2つは大きく違うのだと。

過去の自分が言ってた、しょっぺえ勘違い。

「いやー、サポートなしの教材だけ売っても
売った側が儲かるだけですよ。
買った人の人生は変わらないですし。
僕はコンサルでいいと思いますねー」

うっへ—————。
書きたくなかったけど、
懺悔のレポートだし書いておく。

読み返すたびにうっへ—————って思うんだろうなw

実際ね、コンサルはコスパいいよ。
そりゃ直接アドバイスしてもらえるし
最短の道を教えてもらえるわけだから。

でもガチでいい教材作って
売ってる人もいる。

だからもし言うとしたら、
「自分」の話で言うだけにしろ。

自分が教材出したとしても、
結果は出るほどのクオリティに出来る力がないので、
教材は出せません。
自分はコンサル専門でやらせてもらってます。

なのだ。

他の人がどうか、知らないんだから。

知らない世界を悪くいうことはどう考えてもおかしい。
だって知らないんだから。

知らないのに良い、悪いの判断は出来ない。

ま、今じゃ有難いことに、僕が出してる教材を見て
ブログの収益が上がったとか、月30万行きましたとか
そういう声も届いているし。

教材だとしても
売ること感謝されると知っている。

えーっと、目指してる領域の話ね。

俺が目指すのは、自動で億稼ぐ力を付けること。

そして、コンサルしたいって思うなら
仮にコンサルなんてしなくたって生きていける状況で、
あえてその選択をしろ。ということ。

さっき

この頃の俺は、目指している領域に対して
やってることが釣り合ってなかった。

そう書いたけど

問題だったのは、
今コンサルで、労働で稼いでる延長線上で
その域を目指そうと思っていたことだ。

客観的に考えたら、おかしいんだよコレ。

東京から大阪までチャリ漕いでいく方法を
いくら追求していったところで

新幹線で行く方法、飛行機で行く方法に敵うことはない。

チャリを追求していたら
いつの間にか飛べるようになった、なんてありえない。

シンプルに考えるとそういうことになる。

自分のいきたい世界があるなら、
素直にその世界から学ぶ。

これがどう考えても近道だ。

新幹線や飛行機を使いつつも
もしチャリが好きなら、使えばいい。

結論が出た。
Aさんにこんなメッセージを送ってた。
この時の心を思い出せるように
貼っておく。

~~~~~

Aさんこんばんは！

レポート配布、ありがとうございました！！

自分のことかな？というくらい当てはまっていて、レポートと動画  
見て、何度も見て、痛いほど心に刺さってます。

最近はリスクにとって学ぶということに対して、超絶に甘くなっていました。

昔僕も大学生の時に起業塾に35万円突っ込んで、当然お金はなくなるのでバイト入れまくって冷たいビールを1日中冷やしたりもして、なんとかお金を工面したのを思い出しました。

そんな時があったから今があるのに、その頃みたいなリスクの取り方が出来なくなってたんですね。

今は労働収入で月100万やそこらのレベルで、そのくせ「月1000万やそれ以上の上級の世界に行きたい」なんて思っているくせに、5万、10万そこらの身銭しか切らなくなって安全圏でなんとかしようとしていた自分がとても恥ずかしいです。

小銭を払って中級や中上級からの情報に触れてなんとなく投資した気になってました。

ここから本題になります。

今回のレポートで、Aさんに背中を押していただいたと勝手に思ったのですが、

ぜひコンサルをお願いできませんでしょうか？

これまでAさんとお会いした時に

「いやー、俺が飯食いながらちょちょいとアドバイスしたら、絶対利益数倍になるのになーって人ばかりだよ」

と目の前で仰っていたことが何度もありました。

ただの自意識過剰かもしれませんが、自分もそういう人に当てはまるのではと思ったりもして、

ただ一方でお願ひしたいと切り出すこともできず、正直チキってる自分がいました。

このメッセージをお送りするのにも何度も書き直したり、教材を実践できてない僕が頼むタイミングじゃないんじゃないかとかも葛藤したりしていて、その中で教材を見返したりして、

「最高のタイミングなんて一生来ない」

この言葉にハッとさせられ、動くことが出来ました。

文章が長くなり申し訳ありません。

Aさん、ぜひコンサルティングをお願い致します。

生活費以外を学びに突っ込むというマインドセットで毎月100万円はお支払い出来ます。

足りなければ何とかして集めます。(本当にこういうマインドを失っていたと痛感してます)

毎日50万100万と入金のあるAさんにとっては微々たるものと思いますが、ご納得いただけるならどんな指導形式・回数などの条件にしていいただいても構いません。

単発でボコボコにご指導いただくなどでも、僕にとって有難い限りです。

ご指導いただくことに伴うお車代や、お食事代もぜひお支払いさせていただきますし、

Aさんが通われているお店やご指定の場所があれば伺わせていただきます。

是非ご検討いただければ幸いです。

もしお返事いただけるのであれば、LINEメッセージや通話でもすぐに取りれるよう準備しております。

最後までお読みいただきありがとうございます。どうぞよろしく  
お願いいたします。

~~~~~

数日して、コンサルが決まった。

あー、改めて思ったけど、
こんな決意をしていたんだな一俺は。

そんなことさえすぐに忘れてしまう。
これが人間だ。
人間は本当に弱い。

どんなに心を動かされて、
決めたことでも忘れる。

だからこそ。
こうやって文章に、レポートに残すこと。

それを1か月、
いや数日数週間の単位で振り返って
何度でも思い出さないといけない。

読み返して、音読して、血肉にする。

これ重要すぎるわー。

ふう、、、じゃあ続き。

実は、Aさんから返信いただくまで
ちょっと時間がかかった。
「あれ？無理？」と思ってた。

後々聞いたら、
メッセージ気付いていなかったらしい。

マジでお金困ってないんだなあ、
なんて思ってさらに頭殴られた気分だった。

コンサルの説明聞くために
実際にお会いした時、

この金額を一括で払ってもらえたらコンサル始めます。

と言われた。

現金300万円持って会いに行ったんだけど
それでは足りなかったw

コロナ融資で引っ張ってきていた金があったから

それを見事に吹っ飛ばしてGOした。

使わずに持っておくつもりだったけど
ここが使いどきだと判断した。
また稼げばいいだけの話だ。

不思議と、あのときの言葉を思い出していた。

———この選択が正解だった、
そう思えるような行動をしていくだけ

口座残高は数十万円になった。
なんか一気に貧しくなった気持ちだった。

でも、新たな進化のために僕は踏み出すことが出来た。

この日のことを忘れるなよ。
この日の決意を。

でも、1か月もせずにはまたお金は入ってきたな。
積み上げてきたもの、学んだものは裏切らなかった。

自分の人生をマネタイズする力があったから
学べば学ぶほど戻ってくるようになっていて感じた。

ブレーキを踏む必要はない。
あともし自分が0からやらないといけなかったら、

セールスの力は付けておくなー。

自分にお金を投資してどんどん知識つけて経験積んでそれを他の人に教えまくればまた戻ってくるから。

教える時には売ることが必要だから、
売れる人間はラクだね。

せっかくスキル持ってても、売る力なかったら
金にならないからなあ。

さーてと、

このレポート書いてる今の自分は、
労働収入で最高月収2000万。
ブログアフィリや情報発信を教えていて
教え子は月100万円を超えた人も4人いる。

Aさんに弟子入りして
ビジネスの仕組みを作っている途中。

自分が動かなくても月1000万行くようなレベル
つまり年収億の世界を目指している。

自分が見える世界を広げれば
教えてる人たちにも案内してあげられる。

すでに着いてきてくれる人には
どんどん教えまくっている。

色々な出会い別れはあるけれど
ついて来てくれる人に背くようなことはしない。
Aさんからは「場を良くする人間になれ」そう教わった。
そんなモチベーションも忘れるな。

そんな道中で僕は、
日々至らないところに向き合っているところだ。

そうだ。
吐血したワードを書いておこう。

「佐々木さん今5年目ですよ、失礼を承知でいうなら
僕の2年目よりも、しょぼい状態です。

僕は2年目の時にはもう全て自動で回る仕組みつくって
リタイアしてましたよ。」

はい、吐血。

労働収入がメインの僕にとっては
ゴフッ！！となった。

まあでも、それに気付いて
目指し始めるのが10年後とかじゃなくて
本当に良かったと思う。

遅かったなんてことはない、

今が一番若いタイミングだ。

そういえば、仕組みで稼ぐ、
ということを知ったのは4年目のことだった。

ただ当時、仕組みは悪、とか思っていた。
周りがやってなかったのもあるかもしれんけど。

あ——。昔の自分にイラつくんだけど
手段に対して善悪言うのはマジでしょっぺえなあ。

ここに金属バットがあります。

善ですか？悪ですか？

使い方次第だろ。

人を殴る道具にもできるけど
球児たちの道具にもなる。

高校球児のひたむきさを見ると、毎年感動する。

金属バットは危ないから悪だ！
野球でバットは使うなんて言語道断！

んなやつおらんやろ。

自動販売機も便利だ。
手渡しでジュースもらえないのは悪か？

アーティストやアイドルのライブだって
ネット配信してるけど、あれだって喜ばれてる。
リアルで会えないのは悪だー！
なんて言ったら、機会を失ったファンが悲しむ。
映像だとしてもライブを見たいのだ。

こういう「仕組み」は、
価値提供するための手段だ。

手段に善も悪もない。

仕組みっていうとぼやっとするけど
道具とか、技術と言い換えてもいいかもしれない。

それらに善も悪もないのだ。

ビジネスで考えても。

日給100万の人に
面と向かって教えてもらおうとしたら
金がかかって当然だ。

ぶっちゃけ今結果出てない人は
無理だーってなるかもしれんけど

そういう人のためにも
メルマガを自動で送るようにしておいて
こっちが手を掛けずに学ぶことが出来たら価値じゃんね。
お客さん喜んでるわけじゃん。

それを俺は悪とか言ってた。
知らないことから目を背けて思考停止してただけ。

手段に善悪なんてない、
使う人次第だ、これ忘れないこと。

関連して
しょっぺえ—————こと思ってたので懺悔します。

たとえばこれだ。

- ・億稼いでる人に「そんなに稼いでどうするの？」
- ・買った人のためにならない、買っても稼げないものを売って儲けてもしょうがないやん
- ・どれだけ稼いでも、周りに人がいなかったら意味ないよね

こんなの今では冗談に思えることだけど、
本当にそういう感想を持っていた。
自分ダサすぎ。

特に今、
上の世界に触れれば触れるほど、
大きな思い違いをしていたと痛感する。

・そんなに稼いでどうするの？

これ、稼いでないやつが言うのダサすぎる問題。

さっきも書いたけど、
そもそも自分がやりたくても出来ないことと、
選んでやらないことは全然違う。

余裕で出来る人は
「自分を高めるためにあえてやっている」
そんな言葉を使っていた。

それ見て自分の言葉の軽さに
ホント恥ずかしくなったね。

選んでやらなかったなら後悔しないけどさ、

死ぬときに、もっと色々な経験してみたかったとか、
お金あったらあんな挑戦もできたかな、
とか考えて死ぬのは俺は御免だと思ってる。

死ぬ直前なのに、死にたくなるとか最悪やん。

・買った人のためにならない、買っても稼げないものを売って儲けてもしょうがないやん

これは、僕は教材を売って自動化している人を否定的に見ている頃があって、その話。

実際は、自分が出来ないから嫉妬したり、否定することで目をそらしていただけ。

中には本当に中身空っぽのものを
売ってる人もいるにはいるからふざけんなだけど
一括りにするのが精神性は終わってると言わざるを得ない。

あとはこれ、買う側としても思ってた。
いやー、教材買ったけど、なんか活かしにくいわーとか。
やっぱ教えてもらうのが最強だわーって。
いや教えてもらうのは最強なんだけど、
自分が教材を買った時に使いこなせないことを
棚上げしていただけ。

一番そう思ったのは、
Aさんにコンサルしてもらってる時ね。

教えてもらったこと復習してたら、
あれれと思った。
教材にも全部書いてあったんだよ。

え、なんでこんな重要なこと学んでたの！？
1ミリも活かしてないの俺？

恥ずかしくなった。

教材にはめっちゃ学びがあった。
でもそれを貴重な学びと思っていなかったり
全部吸収してやるんだ！という精神性が欠けていると
何にもならないのだ。

お金払って満足している自分は全否定すべし。
コンサルにしろ教材にしろ、
自分が動かなくては何も現実には動かない。
改めて忘れてはならないこと。

・ どれだけ稼いでも、周りに人がいなかったら意味ないよね

あ————、これ顔から火が出るほど恥ずかしい。

仕組み作ってさ、自分1人儲けるだけってどうかねー。
ぶっちゃけ、周りに人がいない人生なんてさみしいんじゃないかな

みたいなことを言ってた。

勘違いはなはだしすぎる。

中には、そんな人もいるかもしれない。
けどさ、

関わった人をどんどん稼がせまくってる人もいる。
彼女まで年収5000万とかにしちゃう人だっている。

もちろんそんな人の周りには、
価値観が合い、お金もあり、時間の自由も効く、
そんな仲間たちが沢山いた。

俺は知らないだけだった。
知らないことに対して、勝手に想像で発言していた。

しょっぺええええええ————。

過去の自分の過ちに気付いて良かったし、
これは何度も読み返して反省すべき部分だ。

過去の自分の事を思い出すと、
反面教師にしたい部分も沢山あるけど、

たとえば

- ・キャッシングしてまで35万払った大学生の自分

とかは、
ぶっちゃけイケてるなあって思うし

他にも、
あの頃の自分の学ぶところあるわー
なんて思う部分は沢山ある。

◆初年度の勢いシリーズ

よーしなんか書けそうなのでメモしておく。
初年度じゃなくてもいいけど、アツいノリを書く。

- ・ブログ投稿する時間がなかったから、7時出社の前に4時起きして、毎朝ブログ記事ネタを探して書いてた。

・家で書ききれない時には、ニュースを印刷して、それを見ながらスマホで記事を書いていたくらいの勢いがあった。

・仕事終わって家に帰るとスイッチが切れて寝てしまうから、毎日仕事帰りは自宅近くのガストに行って作業していた。

・帰りの電車でZOOMを使ってカメラONしながら、PC作業していた。横の人からは何やってんだ？という目で見られてた。

・会社の昼休憩には寝るかスマホで記事書いてた。記事書く時間がほしすぎて、折り畳み式キーボード買って、スマホに接続して書くまでしていた。

・情報発信でYoutube動画取るために自宅以外の作業スペースに投資しようと思って、池袋で月10万くらいのレンタルオフィスで一室借りて動画撮ってた。副業の稼ぎもそんなないのにだ。

・ある時には静かな時間に動画撮りたいと思って、深夜1時から朝5時まで貸し会議室借りて、撮影してから出社してた。

・動画撮るのも初めてだったけど、出来る限りをやろうと思ってスライド作って1ページ事の台本作って音読しまくって練習した。その動画は3万再生されてる。

・情報発信初期は、とにかく価値提供と思って、無料でブログ添削しまくって50人は添削した。

・大阪に出張していて、翌日も大阪で出社があるのに東京のセミナーに弾丸で参加して、大阪に戻って仕事をしてた。

・深夜1時まで作業して、寝て4時に起きて、作業して出勤して、昼休みにおにぎりだけ食って残り55分は睡眠時間に充てて、そこから退勤まで仕事して、退勤してから深夜1時まで作業していた。

・風呂と飯の時間が勿体ないと思って、シャワーの一択だし、飯も食わないもしくは軽食で10分以上はかけなかった。

・ひげ剃る時間さえ勿体ないと思い、会社でもマスクして隠してマスクの下はめっちゃめっちゃヒゲはえていても我関せず状態でビジネスに打ち込んでいた。

・缶詰合宿だー！とか言って、1日で20記事くらい入れたアフィリエイト作った。それやるためだけに東京から名古屋行った。気合入ってる。放置で何十万かは稼いでくれた。

・懇親会参加してから、なんか次の日になったらやらない気がしたから教えてもらった事をホテルのロビーで延々と実行、気付いたら朝になってた。

お一出る出る。

自分でも引いちゃうレベルのものもあるw
けど、それくらい本気だったんだよなー。

じゃあ今の自分はどうか？
その頃の自分が見た時に「ザコめ」と思われないか？

うーんザコい。
勢いで完全に打ち負けているやん。

なんでこんなアツい自分を忘れていたんだろう。
今もそれくらい必死になってやれるだろ。

こういう初年度の勢いみたいなのは

どんどん薄れていく。
でもそんな人ばかりなんじゃないかな。

だからこそ、日々自省して
いい意味の初心を忘れずやっていくこと
きっと大きく差がつくと思う。

こうやって書き出すだけでも
自分の至らない所が無数にあると分かる。

しかも、それを思ったとしても人間忘れていく。

だからAさんは何事にかけても
感想を書けと言ってくれるのか。

人間はどんな大事なこともすぐ忘れるから、
残すために。

これはようやく身に染みてきたというか、
腑に落ちたというか。

感想やレポートをリストアップしてまとめておいたり、
印刷して毎日寝る前に音読して寝るとかもいいよね。

月1回は感想だけ持ってラクーア籠って、
読み返して、忘れてることとか
新しい気付きとかを含めてさらに感想を書いて
上塗りしていくみたいなこともやってくぞ。

ぶっちゃけ今が一番楽しい。
至らない所を知って、改善していく伸び盛りだ。

もちろんやることは山積みだけど。

このレポートを次読む時には、
また進化できているようにやっていく。
それだけのこと。

めちゃくそ長くなりましたが
レポートはここまでです。

自分以外知らないようなこと、
メルマガにも書いたことないことも
ぶっちゃけて書いているので
読むたびにアツい気持ちが一瞬がえります。

僕とか俺とかだいぶ混乱してますが
気にしない方向でお願いします。

でもこれ読んでくれた人が
僕の過去と似たものをもっていて
アツい気持ちを思い出したり
僕のさらけだした思いなんかを見て
なにか心を動かすきっかけを作れたら嬉しいなと思います。

感想とか言いたい事があったら
もらえると嬉しいし
これを読んだ人と僕とで、共通の話題ができるのは
楽しいことだと思っています。

ぜひアウトプットお待ちしております。

佐々木